

# 「平成31年度横浜市予算の特徴と経済局重点施策について」

## 新しく赴任された高柳友紀ものづくり支援課長に説明頂きました!

第314回朝食会は、4月16日(火)HOTEL THE KNOT YOKOHAMAにて、42名の出席で開催致しました。今回のテーマは、横浜市が平成31年度予算も成立したことから「平成31



年度横浜市予算の特徴と経済局重点施策について」と題して、4月1日に赴任された、経済局中小企業振興部ものづくり支援課 高柳友紀課長(写真左)及び瀧澤恭和係長をお招きし開催致しました。

加藤会長の挨拶、初参加の方々の紹介と挨拶などを受け、高柳課長より、ご挨拶を受け講演に入りました。(以下、要旨です)

この度、4月1日より、ものづくり支援課長を拝任致しました。よろしくお願ひ致します。今回の予算案は、中期4か年計画を着実に推進する取組をしっかりと盛り込んでいます。横浜が、さらなる発展に向けて、躍動する年にしていきます。それでは、平成31年度予算を

3つの柱に沿ってご説明致します。

## 1. 平成31年度横浜市予算の特徴について

### 国際的なビッグイベントを成功させ、東京2020オリンピック・パラリンピックとその先へ「万全の運営とオール横浜でのおもてなし」

今年は、8月に「第7回アフリカ開発会議」、9月からは「ラグビーワールドカップ2019」が開催されます。万全の運営とオール横浜でのおもてなしで、このビッグイベントを成功させます。

そして、街の活気と勢いを、2020年のオリンピック・パラリンピックにつなげていきます。

### 「開港160年ワールドクラスのクルーズポートへ」

開港160年を迎える今年、4月には大黒ふ頭 客船ターミナルのオープン、スカイウォークの一部開放、クイーンエリザベスの寄港が実現し、日本で初めて、クルーズ船が4隻同時に着岸します。

秋には新港ふ頭に、新たな客船ターミナルがオープンし、客船の寄港は、過去最高の190回を予定しています。山下ふ頭では、2020年のオリンピック・パラリンピック期間中のホテルシッブ実施に向けた受入れ準備を進めます。

横浜港では、最大7隻の客船が着岸可能となります。国内外からお越しになるお客様に、横浜での滞在をより一層楽しんでいただく環境を創り上げ、ワールドクラスのクルーズポートに飛躍します。

### 「インバウンド誘客と横浜プレゼンスの向上」

まずは、2019年、2020年と、世界から注目が集まる絶好のチャンスを生かし、「横浜にまた来たい」と思っただけのよう、インバウンド誘客とプレゼンスの向上に集中的に取り組みます。

具体的には、文化芸術イベントで祝祭感を創出し、昼間だけではなく、夜も横浜滞在を楽しめる新たな魅力づくりを進めます。ラグビーワールドカップ開催期間中には、市内観光地を結ぶシャトルバスを運行するなど、観戦客の滞在環境や利便性を向上させます。

近隣都市と連携して、横浜を起点に、鎌倉、三浦等を周遊する観光ルートをつくり、広域周の促進にも取り組みます。更に、横浜の和の観光資源「三溪園」の魅力を国内外へ伝えていきます。

### 「次代につながる活力ある「文化芸術創造都市」」



今年は、3度目となる音楽フェスティバル「横浜音祭り2019」を開催します。ラグビーワールドカップと同時期の9月15日から11月15日までの間、横浜の街を舞台に、オールジャンルのプログラムで、お楽しみいただきます。

まちの活性化につながる、新たな劇場整備に向けては、30年度に行

った調査検討を踏まえ、有識者による検討委員会を設置し、整備のあり方を検討します。

### 「花と緑で彩るまちを次世代につないでいくために」

31年度も、「ガーデンネックレス横浜 2019」を6月まで開催しています。市の花「バラ」を主役にした「横浜ローズウィーク」では、魅力的なバラのスポットやイベントをつなぎ、より魅力あふれる横浜の景観をご覧いただけます。そして、「ガーデンシティ横浜」のムーブメントを、国際園芸博覧会の招致につなげていきます。博覧会は、横浜のまちづくりや経済活性化につながる大きなチャンスです。2026年の開催を目指して、誘致推進組織を設立するとともに、会場予定地である旧上瀬谷通信施設のまちづくりを、スピード感をもって進めていきます。

## 人口減少・高齢化等の課題を乗り越え、横浜の確かな成長と発展へ

### 「新たな価値を創造するオープンイノベーション」

横浜は、優れたビジネス環境や都市としての総合力が高く評価され、これまでに多くのご企業に進出頂いています。本年は、4月に資生堂様のグローバル イノベーションセンターが開所、や6月にも京急グループ本社様が開所します。

更なる企業誘致をはじめ、都市の活力の源泉である経済の活性化策を一層進めていきます。横浜経済のエンジンである中小企業、商店街の振興に引き続き力を入れ、消費税率引き上げに対応した支援策や小規模事業者への支援強化に取り組みます。

この1月、横浜は「イノベーション都市」としての宣言を行い、一步を踏み出しました。ビジネスチャンスを創出するプラットフォーム「LIP. 横浜」や「I・TOP横浜」では、新たなビジネスと課題解決につながる共同プロジェクトが、次々に生まれています。

関内地区に、次世代の横浜経済を担う起業家等の成長を支援する拠点を開設するなど、新たなビジネスエリアを創り出します。

### 「世界に開かれたまち横浜と国際連携」

世界に開かれたまち横浜として、国の外国人材の受入れ拡大にあわせ、総合的な相談体制や日本語学習支援など、外国人が暮らしやすい環境づくりを進め、共生社会の実現を目指します。

また、Y-PORTセンターを中心とする、海外インフラビジネス等への市内企業の参入拡大や、ニューヨークの米州事務所等での企業誘致活動など、国際社会への発信力を高めていきます。

### 「都市活動を支えるまちづくりの推進」

安全安心な市民生活と経済活動の基盤となる、まちづくりも着実に進めます。関内・関外地区



では、現市庁舎街区の事業予定者を今年9月に決定し、新たなまちづくりを具体化します。

関東学院大学様の新キャンパスや、横浜文化体育館の再整備、横浜スタジアム改修等の動きと連携して、地区全体で大きな賑わいを創り出していきます。新市庁舎は、32年6月の供用開始に向けて、引き続き、整備を進めます。

横浜駅周辺の「エキサイト

よこはま22」では、西口地下街の中央通路工事が完了します。2020年に向けて、国際都市横浜の玄関口にふさわしい駅前広場を整備します。郊外部では、米軍施設の跡地利用の具体化を進め、新たな活性化拠点を目指します。

交通ネットワークの整備も着実に進めます。横浜環状北西線は、2020年のオリンピック・パラリンピックまでの開通を目指し、神奈川東部方面線の相鉄・JR直通線は31年度下期、相鉄・東急直通線は34年度下期の開業に向けて、整備を進めます。市営地下鉄「あざみ野駅」と小田急線「新百合ヶ丘駅」を結ぶ高速鉄道3号線の延伸事業も進めていきます。

## 「他都市をリードする課題解決」

横浜市は、持続的な成長に向けた課題解決にチャレンジし続けます。女性の活躍支援に向けて、これまで培ってきた国際的なネットワークをいかし、アフリカ開発会議にあわせてシンポジウムを開催します。昨年、国から選定された「SDGs未来都市」の取組も、31年度から本格稼働する「ヨコハマSDGsデザインセンター」を中心に、持続可能な社会の実現に向けた、大都市ならではの解決モデルを生み出していきます。

## 将来にわたる、市民の皆様の安全・安心な暮らしのために

### 「地域包括ケアシステムの構築・推進」

団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、地域包括ケアシステムを推進します。特別養護老人ホームの整備では、30年度に引き続き、600人分の公募を行います。

介護人材の確保に向けて、ベトナムの都市と連携した、留学生等の受入れ支援を拡充し、新たに、訪日前の日本語研修を行います。

医療ビッグデータを活用した総合的ながん対策や、来年の開院に向けた市民病院の再整備を進めます。また、大腸がん検診の3年間無料化や受動喫煙対策など、健康づくりの取組を進めます。

### 「子育て支援・子どもの貧困対策・学校教育の充実・教職員の働き方改革」

子育て支援にも、しっかりと取り組みます。引き続き、待機児童ゼロに挑戦し、4月からは小児医療費通院助成の対象を、中学校3年生まで拡大します。放課後キッズクラブは、31年度中に、全ての小学校に設置します。児童相談所の体制強化など児童虐待防止の取組を強化します。また、横浜型児童家庭支援センターの全区設置を完了させます。子どもの貧困対策では、寄り添い型生活支援・学習支援を充実させ、「子ども食堂」など地域における子どもの居場所づくりへの支援を、全区に広げます。

未来を創る子どもたちのために、教育環境を充実します。小学校では、プログラミング教育必修化に向け、ICT支援員を全校に派遣します。また、中学校昼食の充実に向けて、「ハマ弁」の当日注文を全校展開していきます。教職員が児童生徒にしっかりと寄り添えるよう、職員室業務アシスタントを、小中学校全校に配置します。

### 「災害対応力の強化・生活環境の改善」

災害救助法の改正に基づき、横浜市は、今年4月には「救助実施市」に指定されました。より柔軟で、円滑かつ迅速な救助活動が可能となります。

条例定員充足率100%を達成した消防団の充実強化をはじめ、民間ブロック塀等の改善や、防災スピーカーの増設、河川・下水道整備等の浸水対策など、災害対応力の強化を進めます。

また、地域交通サポートの拡充や、総合的な空家等対策の強化、公共施設の老朽化対策など、地域の課題解決にしっかりと取り組みます。

## 平成31年度予算規模

次に、31年度予算案の規模です。一般会計は、1兆7,615億円で、前年度比2.0%増の5年連続のプラス予算です。予算総計は、3兆7,048億円で、前年度比3.1%増となります。

### 「市税収入と市債活用額」

「市税収入」と「市債活用額」です。歳入面の中心となる市税収入の見込額は、前年度比3.3%増の約8,395億円です。

市債は、1,720億円を活用します。横浜方式のプライマリーバランスは、242億円の赤字となりますが、32年度からは黒字と中期4か年計画の計画期間通期での均衡を確保します。

また、31年度末の「一般会計が対応する借入金残高」は、3兆1,333億円です。33年度末には、29年度末の残高以下を目指します。

### 「不断の行政改革の推進」

引き続き、行政改革を推進しま



す。31年度予算編成においても、徹底した事業見直しや 外郭団体に対する財政支援等の見直しに取り組みました。見直し件数は1,094件、効果額は110億円で、7年連続で100億円を超えました。

31年度は、皆様お一人おひとりの安全・安心を最優先に、横浜の確かな成長に向けて、力強い予算を編成しました。「共感と信頼の市政運営」のもと、これまで、オール横浜で築き上げてきたあらゆる成果をしっかりと横浜の未来につなげていきます。以上、31年度予算案について、ご説明申し上げます。続きまして、平成31年度の経済局の重点施策についてご説明申し上げます。

## 外国人材の活躍に向けた取組・小規模事業者への支援・設備投資助成 などが新設されました！

### 「平成31年度経済局予算概要」

平成31年度の経済局の予算額ですが、一般会計は約492億円で、30年度当初予算に比べ、約20億円の増となっています。これは主に中小企業設備投資助成事業費や小規模事業者への支援強化事業費、プレミアム商品券事業費の増によるものです。

本日は、経済局の平成31年度新規・拡充事業施策のうち皆様とも関わりの深い、(1)多様な人材の確保や活躍の推進 (2)中小企業の生産性向上の推進 (3)小規模事業者への支援の強化 (4)イノベーション都市・横浜の構築の4点に絞ってご説明します。

### 「多様な人材の確保や活躍の推進」

労働力人口が減少する中、様々な就労支援を通じて、市内中小企業等の人手不足対策に対応をしております。新規で一つ、拡充で4つを紹介いたします。

#### 【新規】外国人材の活躍に向けた取組

市内で就職を希望する外国人及びその受入れに意欲的な市内中小企業等を支援として

## 2. 経済局重点施策について

、④外国人を対象とした就職活動応援セミナー、外国人のための合同企業説明会（就職応援フェア）、市内中小企業を対象とした外国人材採用セミナー等を開催します。

#### 【拡充】採用マッチングの促進

昨年度から、ピズリーチのスタンバイという民間の就職情報サイト内に市内中小企業は、無料で掲載いただける横浜市特集ページを開設しました。引き続き取り組むと共に31年度については、大学等との連携による、中小企業の学生のインターンシップ受入に向けた支援も行なっていきます。

#### 【拡充】求職者への支援

「横浜市就職サポートセンター」における個別相談、就職支援セミナー、インターンシッププログラムなどの支援メニューを強化します。若年者（18～39歳）及び再就職を目指す女性を対象としたインターンシッププログラム等の実施に加え、今年度はミドルエイジ（40～59歳）を対象とした就職支援プログラムを進めてまいります。

#### 【拡充】働きやすい環境整備への取組

これまで女性の活躍推進を目的とした環境整備支援の対象を拡大し、男女問わず、柔軟な働き方がしやすい環境の整備を支援していきます。昨年度までは、中小企業女性活躍推進助成金と、就業規則の改定や女性専用設備（トイレ、更衣室）の設置費用の助成をしてきましたが、31年度は全ての人々が働きやすい環境づくりということで、中小企業職場環境向上支援助成金として拡充します。



#### 【拡充】事業承継支援

31年度は、後継者不在の企業に対して、M&Aの検討や後継者候補となる人材採用の取組の促進や IDEC 横浜の相談窓口の充実を図っていきます。

### 「中小企業の生産性向上の推進」

人材不足の厳しさが増し、経済のグローバル化が進む中、中小企業の生産性向上につながる設備投資を強力に後押しします。

#### 【拡充】中小企業への設備投資助成

これまで中小製造業に限り対象としていた設備投資助成を業種を限らず、生産性向上や業務改善のために行う投資に対して助成を致します。31年度は、先端設備等導入計画の認定を取得した設備について、助成率は10~30%、事業費は下限額なし、助成限度額800万円対象者中小企業・個人事業主（みなし大企業は除く）となります。

#### 「(参考)先端設備等導入計画について」

国で定めたもので、中小企業者が3~5年間の計画期間内に先端設備等を導入することで、労働生産性を年平均3%以上向上させる計画を策定、横浜市の認定を受けることで、設備にかかる固定資産税の減免や国の補助金の優先採択等のメリットを受けることができます。労働生産性の向上に必要な生産、販売活動等の用に直接供される設備が対象となります。具体例はチラシをご覧ください。ととも個別にお問い合わせください。

#### 【拡充】IT・IoT 導入にかかる費用助成

31年度は、対象設備等はIT・IoT機器に拡大し、助成率は対象経費の2/3、助成限度額20万円に引き上げます。—対象者中小企業・個人事業主（みなし大企業は除く）です。

#### 【新規】中小企業の設備投資を後押しする資金調達支援

制度融資では最長の融資期間で、保証料助成を行う「設備投資おうえん資金」を創設しました。詳しくは、「平成31年度横浜市中企業融資のご案内」をご覧ください。

### 「小規模事業者への支援の強化について」

市内企業の8割を超える企業が小規模企業ですので、小規模事業者への支援を強化するとということで、新規で2件、拡充で1件紹介いたします。

#### 【新規】「小規模事業者支援チーム」による出張相談

IDEC 横浜に小規模事業者を支援するチームを新設、出張相談専用ダイヤルへの電話1本での現場を訪問や横浜市信用保証協会や金融機関と連携を進めていきます。

#### 【新規】小規模事業者への設備投資助成



小規模事業者を対象とした少額設備導入助成を新設し、小規模事業者が業務改善や生産性向上のために導入する設備にかかる経費を助成します。

対象設備等は、事業の用に供するものであり、業務改善に資する設備等全般（消耗品費、原材料、リースは対象外）、助成率1/2、助成限度額10万円、予算額は2,300万円、対象者は小規模事業者・個人事業主（みなし大企業は除く）です。

概ね100万円以下の設備を想定しており、これ以上は先端設備導入型で対応となります。【拡充】小規模事業者向けの資金調達支援

小口(500万円以内)で短期(5年以内)の資金需要に対応するため、小規模事業者向け資金の中に「小口おうえん特例」を創設しました。詳しくは、「平成31年度横浜市中企業融資のご案内」をご覧ください。

## 「イノベーション都市・横浜の構築」

これまでもIoTを活用して成長・発展を目指す企業等が参画する「I・TOP 横浜」、健康・医療分野の企業等が参画する「LIP 横浜」の2つのプラットフォームによる新たなビジネスの創出を推進してまいりました。

31年度も引き続き「I・TOP 横浜」「LIP 横浜」による取組は継続しつつ、これらとも連携する取組として、「イノベーション都市・横浜」構築を進めます。

### 【新規】ベンチャー企業の成長を後押しする拠点の開設

ベンチャー企業や起業家の成長を支援する拠点を関内地区に整備し、民間企業と連携して社会課題に対応する次世代産業を生み出すビジネスエリアとなることを目指します。

### 【新規】RWC2019等の好機を捉えた魅力発信

ラグビーワールドカップ2019など、国内外から多くの方々が横浜を訪れる好機をいかし、来街者が横浜のイノベーションやテクノロジー、さらには伝統の技能等を楽しみながら体感できるイベントの実施を予定しています。

以上ですが、各制度については幾つかチラシを用意しており、もし、活用したい場合は、横浜市またはIDECにご相談頂ければと思います。と説明頂き、

## 今回ご紹介した助成金の詳細については下記HPをご覧ください

- 中小企業設備投資等助成金（先端設備導入型）  
<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kigyoshien/keieishien/capex/zochiku/setubitoushi.html>
- 中小企業設備投資等助成金（IT・IoT型）  
<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kigyoshien/keieishien/capex/it-iot.html>
- 小規模事業者設備投資助成金  
[https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kigyoshien/keieishien/capex/shokibo\\_setubitoshi.html](https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kigyoshien/keieishien/capex/shokibo_setubitoshi.html)